



学校教育目標
自分や相手を大切にし、
自ら考え行動する名瀬っ子

名瀬小だより

9月号

令和4年8月31日
横浜市立名瀬小学校
校長 中嶋 孝宏



好きなこと・やりたいこと

校長 中嶋 孝宏

気候の変動により、酷暑そして豪雨と変化の激しい夏となりました。各地で記録的な暑さや降水量となり、地域によっては甚大な被害も出ており、自然の猛威を感じずにはられません。自然に敬意を払い、謙虚に生活することを私たちは忘れてはいけないのだと改めて実感しました。

夏休み前に「夏休みの挑戦」という話を子どもたちにしました。4月から経験してきたことを受け、何でもよいのでこの夏にやってみる、小さな挑戦を見つけ取り組んでみようという話です。「みそ汁がつかれる」「駅の名前を調べる」「国の名前を書きだす」「昆虫を調べる」など、興味があることや好きなことに触れて、感じてほしいのです。

フレンチを中心とした家庭料理を作ることで有名な家政婦のタサン志麻さんは、料理の道に進むことを、高校時代に決心したそうです。周りは大学に進学する人が多い中、迷いなく、調理の学校に進み、フランスに留学。格式あるレストランで修業するも、温かさを感じる料理が好みで、20歳で帰国し、おいしい味を探し求めて食べ歩いたそうです。がむしゃらに働き、お金も時間も全部つぎ込んで、フランス料理を勉強しました。寝る間も惜しんで本を読み、休みになれば語学のレッスン。ところが勉強すればするほど、「自分が本当にやりたいことはなんなのか。」と悩むことが増えたそうです。そんな時、フランス映画に出てきた家庭での食事シーンを見て、フランス人家庭のベビーシッターをやれば、家事もできる、フランス料理も作れる、と思ったそうです。その後、自分の作った料理が喜ばれ、一人ひとりを思って料理を作る、家政婦になることができました。自分の気持ちに嘘をつかずやりたいことをやり、答えを見つけたとのことでした。

この夏休み、子どもたちが何に興味をもち、どんなことに挑戦したか聞くのを職員一同、楽しみにしております。特別なことはなくても、夏休みに自分のやってみたいことを見つけ挑戦することは、とても有意義です。今ははっきりと「これが好き、やりたい!」というものがなくても、今後の自分の「小さな好き」が「好きなこと・やりたいこと」につながるきっかけとなります。保護者、地域の皆様、この夏の子どもたちの挑戦に注目し、話題にさせていただけるとありがたいです。

暑い日が続きますが、子どもたちが学校に戻ってきます。生活のリズムが変化するので、不安になる子もいると思います。小さな変化に気付き、支援してまいります。ご家庭でも見守っていただき、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

